# 数理・データサイエンス・AI入門

## 第3回 コンピュータサイエンス(2)

Copyright UCHIDA HUMAN DEVELOPMENT all rights reserved.

()

# オンライン教材の使い方

#### まずはじめに

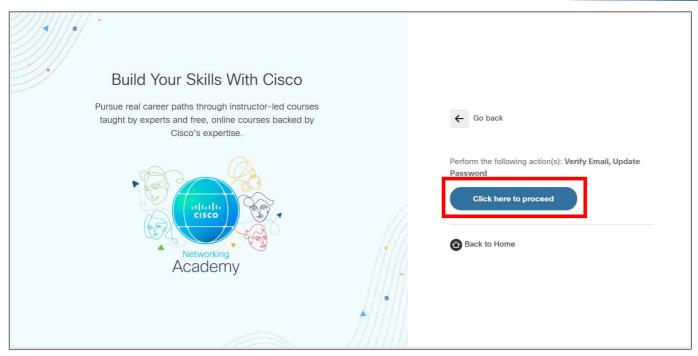
#### ■ 届いているメールを確認してください



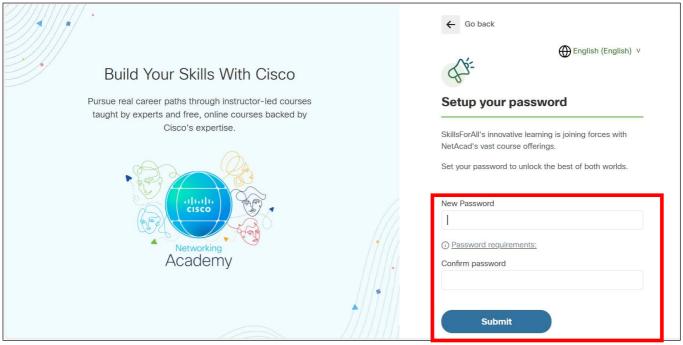
Copyright UCHIDA HUMAN DEVELOPMENT all rights reserved.

7

#### アカウントの有効化



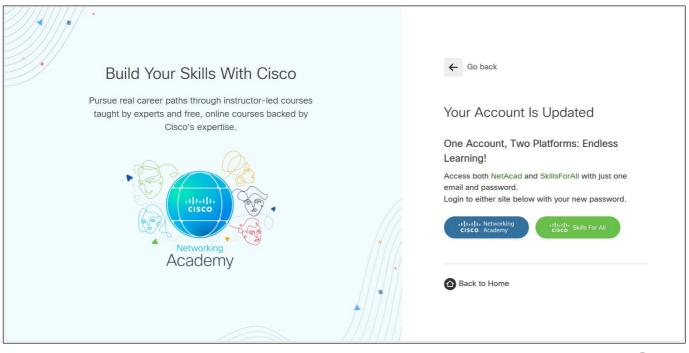
#### アカウントの有効化



Copyright UCHIDA HUMAN DEVELOPMENT all rights reserved.

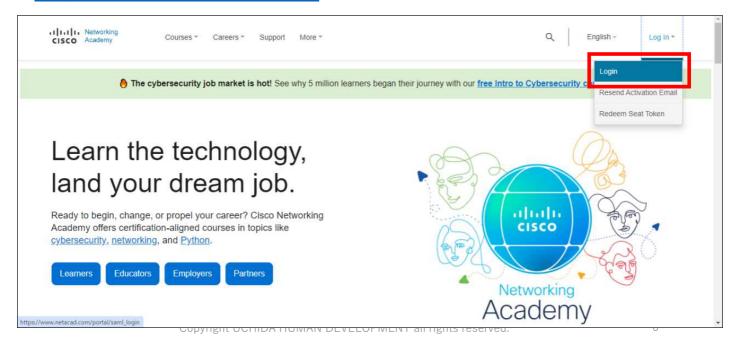
Λ

#### アカウントの有効化

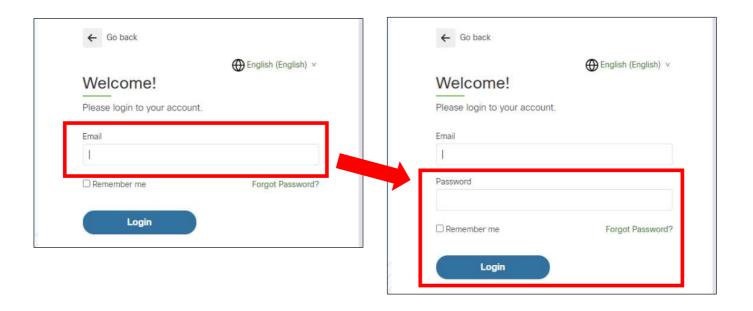


#### ログインします

■ <a href="https://www.netacad.com/">https://www.netacad.com/</a>



#### ログインします



### ログインしたらコースを開きます



Copyright UCHIDA HUMAN DEVELOPMENT all rights reserved.

# 補足資料

0

#### ITリテラシー

- □ 情報機器の操作や取り扱いの力
- □ 情報源を見つけ、情報を収集し、取捨選択し、活用する力
  - ITリテラシーがあるとデジタルによる効用を最大限活用することができ、生産性 向上につながる利点がある
  - インターネット上の偽情報等の問題にも対応できる
    - ーITリテラシーが高いほど偽情報や誤情報に気づく またこれらの有害な情報をSNS等で拡散しにくい
  - ITリテラシーが不足していると、偽情報や誤情報等に惑わされ、これらを誤って 拡散してしまうことがある
  - デジタル化による利便性の向上等のメリットが享受できないまま取り残されてしまう結果にもなる

Copyright UCHIDA HUMAN DEVELOPMENT all rights reserved.

10

#### 通信データの暗号化

- 通信データの暗号化の暗号化は主に次の2種類
  - ネットワーク自体を暗号化する (VPN)
  - 部分的に流れるデータを暗号化する(SSL)
- VPNだとネットワークを流れるデータすべてに暗号化・復号化を行う ためパフォーマンスが低下する
  - 部分的(必要な部分だけ)なら、他の通常通信には影響を与えない
- □ データの機密性と整合性を保証する
  - 機密性:データが盗み見られないかどうかを保証
  - 整合性: データが破壊されたり改ざんされたりしていないかどうかを保証

#### 2要素認証

- □ 認証に使用される3要素
  - ID/パスワードなど対象者の知識を利用したもの(記憶)
  - USBトークンやスマートカードなど対象者の持ち物を利用したもの(所有)
  - 光彩・指紋などの対象者の身体の特徴を利用したもの(生体)
- これら3要素から2つを組み合わせて使う認証が2ファクタ認証(デュアル認証)
  - 例1:IDカードの読取+PINコード
  - 例2:指紋とパスワード

Copyright UCHIDA HUMAN DEVELOPMENT all rights reserved.

12

#### ハッシュ値の例

■ 認証時に平文ではなくハッシュ値を送信する



パスワード oit のハッシュ 値を送信



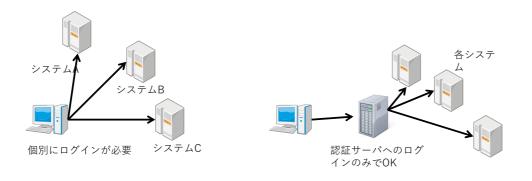
あらかじめ保存されて いたハッシュ値と比較 する

オリジナル	MD5によるハッシュ値 (128bit)	SHA-1によるハッシュ値 (160bit)
oit	83d3a49a637067949b283caf 9e98e5ef	F80965ED5FAB22A3036C40A 3EAF47F2F4CA12145
comptia	8638f732ba7cf2d95b16979e 2725da78	AB7CCBD2305B5B26B10B17E 97C4E813FAF69794C

13

### シングルサインオン (SSO)

- 認証サーバを用いて、そこにユーザ情報を一元化させる
- □ ユーザは認証サーバでログインするだけでよい
- ユーザの利便性、及び管理が改善される



Copyright UCHIDA HUMAN DEVELOPMENT all rights reserved.

14